授業科目名： 世界の見方とジャーナリズム	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 佐々木伸 担当形態：　単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校　社会、高等学校　公民、中学校及び高等学校　英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「社会学、経済学」 ・「社会学、経済学（国際経済を含む）」 ・異文化理解		

「学位授与の方針」との関係

DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）
DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力）

授業のテーマ及び到達目標

【授業のテーマ】
　世界の動きやニュースをジャーナリズムの視点から分析、物事の見方を養う。

【到達目標】
（１）フェイクニュースが氾濫するポストトルース時代の現状と意味を理解できる。
（２）冷戦以降の歴史を学修、グローバル化した複雑な国際社会・情勢を把握し、ニュースの背景や政治的問題点などを説明できる。
（３）インターネットやＳＮＳ全盛時代の激変したメディア環境の実態を理解し、ニュースの読み取り方とフェイクニュースにだまされないメディアリテラシーを養う。
（４）ジャーナリズムとメディの基本的役割と社会的な責任を説明できる。
（５）報道と権力の関係を考察し、調査報道の重要性を理解する。

授業の概要

　インターネットの発達でスマホ・ＳＮＳが全盛の中、「ポストトゥルース」時代といわれるようにフェイクニュース（虚報）が氾濫し、何が真実か不透明感が広がっている。こうした時代にあっては、「真実・独立・公正」の３原則を掲げるジャーナリズム・メディアの役割とその責任は一段と高まっている。授業では、世界の動きの見方やフェイクニュースにだまされないための対策などについて議論する。

授業計画

第１回：どんな時代に生きているのか
第２回：ポストトルースとフェイクニュース
第３回：ＳＮＳとスマホの拡散
第４回：新聞の衰退
第５回：反グローバリズムの２つの出来事
第６回：トランプのメディア戦争と２０２４年大統領選挙
第７回：独裁者と報道の自由
第８回：ジャーナリズムの役割と社会的責任
第９回：報道の原則
第１０回：メディアと権力―調査報道の力
第１１回：実名報道と匿名報道
第１２回：情報源の明示と秘匿
第１３回：誤報と捏造
第１４回：戦争・紛争報道
第１５回：日米の報道比較
科目修得試験

スクーリングでの学修

　主に授業計画に記載したテーマについて横断的に学ぶ。テキストについては、ダウンロード教科書「ジャーナリズムの役割特論」（佐々木伸著）を中心に講義する。スクーリング前にテキストを読んでくること。

テキスト

（１）佐々木　伸（２０２３）『ジャーナリズムの役割特論』（ダウンロード教科書）
（２）SCパワポ資料（クラスルームに掲載）

参考書・参考資料等

（１）藤代　裕之（２０１７）『ネットメディア覇権戦争』光文社新書
（２）津田　大介・日比　嘉高（２０１７）『ポスト真実の時代』祥伝社

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）